



出雲市


最高傑作の横穴式石室 上塩冶築山古墳

 出雲市上塩冶町
＜指定＞国・史跡
神戸川東岸に位置する、径40m以上の円墳。方墳の可能性もある。内部には全長14.6mの巨大で整美な切石造りの横穴式石室があり、中には家形石棺が2基置かれている。発見は明治時代で、金銅製冠、銀環、玉類、円頭大刀、槍、馬具など豊富な副葬品（県指定）が出土、現在出雲文化伝承館に展示されている。6世紀終りごろの古墳としては、日本を代表するものの1つである。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 島根医大入口下車、徒歩5分
＜いにしえ＞1巻P25、3巻P29


岩肌には穴・あな・アナ 上塩冶横穴墓群

 出雲市上塩冶町
出雲工業高校裏山にある山陰最大規模の横穴墓群で、150穴以上が知られている。38のグループに分かれ、古墳時代終りごろの築造。天井部は屋根形など、さまざまな形のものがあり、おもしろい。内部やその周辺から、土器、鉄刀、金糸などが出土している。なかには中近世に再利用された横穴墓もある。ただし見学できるものは少ない。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 半分下車、徒歩15分
＜いにしえ＞3巻P20、7巻P14


県内最大の切石造り 地蔵山古墳

 出雲市上塩冶町
＜指定＞国・史跡
出雲工業高校の北にあるこんもりした山が、実は古墳。墳丘は後世に削られて形を変えているが、一辺約15m、高さ5mの方墳と考えられている。全長9mの横穴式石室は壁・天井ともに1枚の切石で造られており、迫り十分。石室いっしょに、石をくり抜いた横口式の石棺・石床が置かれ、現在は石棺内に地蔵尊が祀られている。この地域の最後の巨石墳の1つと考えられている。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 出雲工業高校前下車、徒歩3分
＜いにしえ＞3巻P30


骨蔵器を持つ古墳 小坂古墳

 出雲市馬木町
＜指定＞県・史跡
古墳時代後期の刈山古墳群の一角にある、径10数mの円墳。切石造りの横穴式石室で、中に火葬した骨を入れた器を納める石櫃があり、奈良時代の箒手刀、須恵器が出土している。これは、この古墳を奈良時代に火葬墓として再利用したため、この地方の火葬のはじまりを知ろうと貴重な資料。ちなみに石室の造られた時代は6世紀末。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス15分 下朝山下車、徒歩15分
＜いにしえ＞3巻P29

A・チ形のきれいな石室 放れ山古墳


 出雲市古志町
＜指定＞県・史跡
妙蓮寺山の東、標高約10mの丘陵上にある径13mの円墳で、古墳時代後期のもの。全長7mの横穴式石室の側壁は、小型の石をレンガ積みにしてA・チ状にしており、まるでヨ・ロッパの橋のようだ。石の棺台があり、3人以上の人が葬られていた。大正時代に発掘され、金メッキや銀メッキをした刀、馬具類、金環、須恵器などが出土している。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 古志本町下車、徒歩15分
＜いにしえ＞3巻P29

日本一大きな石棺 大念寺古墳


 出雲市今市町
＜指定＞国・史跡、市・考古資料（出土品）
出雲高校北の大念寺裏山に位置する、全長92m以上ある県内最大の前方後円墳。6世紀後半ごろのもので、全長13mの横穴式石室があり、中には長さ3.3m、幅1.7m、高さ1.9mの横口を持つ、日本最大の家形石棺が置かれている。墳丘は、版築という当時の高度な技術を使って土を固め、崩れないようにしている。江戸時代後期に発見され、金銅製履、大刀、槍、馬具などが出土している。
＜交通＞J R 出雲市駅から徒歩5分
＜いにしえ＞1巻P24、3巻P29

出雲平野の遺跡は謎が多いが、最近になって大規模な発掘調査が始まり、ようやくその姿を現わしつつある。そんな中で見落としがちなのが、平野中央の荻苳町にある「荻苳古墳」。1965年に偶然発見され、人骨


出雲最古級の横穴式石室 妙蓮寺山古墳

 出雲市古志町
＜指定＞県・史跡
妙蓮寺の裏山にある、全長約50m、6世紀後半の前方後円墳。割石で構築された小型の横穴式石室で、玄室にはくりぬきの横口式家形石棺を置く。入口にはほかに例のない、観音開きの2枚の切石の扉がある。円頭大刀、馬具類、玉、腕輪、須恵器などが出土している。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス15分 二軒茶屋下車、徒歩12分
＜いにしえ＞3巻P30

孤島の前方後円墳 北光寺古墳

 出雲市東神西町
出雲大社口駅の南、標高103mの丘陵頂上にあり、神西湖、日本海が望める。墳丘は部分的に崩れているが、全長65mの大型の前方後円墳で、古墳時代中期のもの。竪穴式石室の一部が確認され、石棺の破片と思われる割石と赤く塗られた凝灰岩の切石が散在している。石室からは2本の鉄剣が出土したという。
＜交通＞J R 出雲大社口駅から徒歩30分


法則？「高校の近くには 古墳がある」 宝塚古墳

 出雲市古志町
＜指定＞国・史跡
出雲西高校の南東にあり、別名「一保塚」とも呼ばれる。盛土がほとんど失われ、石室の天井石の一部が露出している。内部は切石造りの横穴式石室であり、玄室内にはくりぬきの横口式家形石棺（長さ2.3m、幅1.3m、高さ1.5m）を置く。発掘年代は古く、出土品は明らかでないが、6世紀終りごろのものと考えられる。なお、田んぼに水を張るころには、石室にも水がたまるので要注意。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス15分 二軒茶屋下車、徒歩10分
＜いにしえ＞3巻P29


おたっきー情報

とともに常滑系の甕、13世紀中国製の青磁碗・皿が見つかった。これらは現在、国指定重要文化財。


県内最古級の前方後円墳 大寺古墳

 出雲市東林木町
＜指定＞市・史跡
大寺薬師の裏山にあたる、標高約30mの山の上にある全長約50mの古墳時代前期の前方後円墳。後円部の墳丘に葺石がある。竪穴式石室があり、副葬品の一部と思われる鉄製の斧や大型の鍬先が発見されている。出雲地方のもっとも古い時期の前方後円墳として注目される。
＜交通＞一畑電鉄大寺駅から徒歩15分
＜いにしえ＞3巻P24


弥生人のゴミステーション 多聞院遺跡

 出雲市知井宮町
＜指定＞市・史跡
多聞院の境内を中心に広がる弥生時代の集落遺跡。1924年以来、弥生時代の貝塚として知られていた。出雲平野西部の旧「神門水海」の海岸に近い微高地上にあり、現在でも多聞院境内は周辺の水田面より約2m高くなっている。出土品は、弥生時代の土器、古式土師器、石器、骨角器、貝輪片、土錘など。
＜交通＞J R 西出雲駅から徒歩10分
＜いにしえ＞2巻P14

弥生の王様ここに眠る 西谷墳墓群


 出雲市大津町
出雲商業高校の東の丘陵にある、弥生時代後期から古墳時代に造られた墳墓群。6基の四隅突出型墳丘墓を中心にたくさんのお墓が造られている。島根大学によって調査され、吉備地方から運ばれたと考えられる葬式専用の壺や石棺、北陸地方産の玉類などが出土。古墳発生の謎を解く鍵として、全国的に注目を集めている。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 下来原下車、徒歩15分
＜いにしえ＞2巻P24、5巻P6

深い溝で守られた村 天神遺跡


 出雲市天神町
弥生時代から中世に及ぶ神戸川の自然堤防上に営まれた、東西約450m、南北350mの範囲の大規模遺跡。弥生時代の墓、溝、古墳時代の溝、古代・中世の建物跡が土器とともに見つかった。天神南公園の南で検出された建物は、柱穴が径約1～1.2mと大規模で、付

近から出土した「早天」と書かれた墨書土器などから、公的建物であった可能性が高い。出雲市にはことごとしく、ふだん何気なく歩いている場所の地下に遺跡が眠っていることが多い。
＜交通＞J R 出雲市駅から徒歩10分 天満宮前下車周辺
＜いにしえ＞2巻P14、7巻P19


出雲最大の古代集落 矢野遺跡

 出雲市矢野町
＜指定＞市・史跡
出雲平野のほぼ真ん中にある、縄文時代後期から中世にいたる集落遺跡。弥生時代の住居跡や貝塚、墓が確認されている。土器、石器、骨角器、玉などの出土品がある。貝塚からはヤマトシジミを中心とする貝類、シカ、イノシシなどの獣骨が発見されている。今ひとつ実体が明らかでないが、県内最大級の遺跡と推定される。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス15分 三中前下車、徒歩10分
＜いにしえ＞2巻P14


土塁を築いて守った城 半分城跡

 出雲市上塩冶町
県立出雲工業高校の裏山にある、戦国時代の山城跡。放射状に延びる尾根に大小10カ所の郭、土塁、堀切などがある。16世紀のものと思われる石臼片、摺鉢片、鎌、釘、土器などが出土している。近くに塩冶判官屋敷があることから、当時の守護・塩冶氏が城主であったと推定されている。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 出雲工業高校前下車、徒歩20分


眺めは最高 鳶ヶ巣城跡

 出雲市西林木町
＜指定＞市・史跡
鳶ヶ巣山にあった山城で、斐伊川を利用する交通路の要衝を占めている。毛利元就が尼子氏攻略のために築城したと推定されている。元龜2年(1571)の高瀬城攻略のとき、吉川元春の拠点となった所で、数カ所の郭が残っている。ハイキングコースとして、総延長約1kmの登山道が整備されており、所要時間30分である。ふもとには「しょうぶ園」が設けられている。
＜交通＞一畑電鉄川跡または大寺下車、徒歩1時間


国引き神話の舞台 長浜海岸

 出雲市西園・外園町
神戸川から差海川河口に弓状に広がる、約3kmの砂浜海岸。北は稲佐の浜に連なり、西は湖陵海岸に続く。『出雲国風土記』の国引き神話の舞台である「園の長浜」にあたり、砂丘の地下深くから貝塚などが見つかった。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス30分 外園車庫下車、徒歩3分
＜いにしえ＞5巻P3


日本三大不動明王 光明寺

 出雲市馬木町
日蓮宗。創立年代は不詳、開祖は日実と伝える。寛永8年(1631)顯妙院日伝により再建された。像高157cmの馬木不動尊があり、一本の木で3体を彫ったと言われ、千葉県の成田、東京目黒の不動尊とともに日本三大不動明王の1つと伝承される。裏山には椎の木の原生林がある。一般には馬木不動尊と呼ばれる。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス15分 馬木下車徒歩すぐ
＜連絡先＞0853-48-0600
＜いにしえ＞6巻P41

奈良時代から続く古寺 神門寺


 出雲市塩冶町
＜指定＞県・古文書、市・史跡・書跡
別名「いろは寺」と言う。空海が当寺でいるのは文字を作り、石に彫りつけたとの伝承がある。境内には奈良時代の瓦や塔の礎石があり、特異な古瓦は、広島県北部との関係が深い。所蔵の「墨書神門寺文書」（南北朝から戦国期まで18点）は県指定で、寺領の変遷を知るうえで貴重。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス10分 塩冶または弓原下車、徒歩5分
＜連絡先＞0853-21-0698

白鳳の仏像 法王寺

 出雲市野尻町
＜指定＞国重文・工藝、県・彫刻
天台宗。寺伝によれば、聖武天皇の勅願寺で、行基草創の寺院という。中世には七堂伽藍の整備された天台密教の大寺院であったと言われ、山伏修験の霊場であったと考えられる。金銅観音菩薩像御正体、蔵王権現

像御正体の3面の懸仏(重文)白鳳期の地方作とされる金銅造聖観音菩薩像(県指定)がある。
＜交通＞J R 出雲市駅からバス45分 野尻口下車、徒歩30分
＜連絡先＞0853-48-1467
＜いにしえ＞6巻P36

躍動美あふれる四天王像 大寺薬師・万福寺

 出雲市東林木町
＜指定＞国重文・彫刻
現地には、多数の仏像を納めた収蔵庫と万福寺本堂がある。万福寺は、推古天皇時代に、鵜淵寺開山の智春上人が建立したと伝えられ、もともとは現地より奥の八瀬にあつたらしい。大寺薬師には、本尊の薬師如来坐像をはじめ、9体の仏像が納められている。中でも重文指定の四天王像は平安時代の作で、力強い顔と躍動感ある造形美にあふれた秀作。
＜交通＞一畑電鉄大寺駅から徒歩15分
＜連絡先＞0853-24-1551
＜いにしえ＞6巻P40


おたっきー情報

出雲市立体育館には、大念寺古墳の墳丘の一部をはぎ取ったものが保管してある。この古墳は調査で現代の工学博士をうならせるほどの技術で、墳丘が造られていることがわかったからだ。重要なものだが、超大型のじゅうたんのようで、持ち運ぶにもひと苦労。


神門水海

出雲市と湖陵町にまたがる神西湖は現在周囲約5kmの小さな湖ですが、もとは数倍の大きさであったことがわかっています。こうしてできた出雲平野の地下には近世以前の遺跡が多く眠っているはずで、実際に出雲ドーム近くの矢野遺跡や出雲市駅西側の天神遺跡など、平野の真ん中に大規模な遺跡が確認されています。これまでのところ確認されたもっとも古い遺物は、矢野遺跡出土の縄文後期(およそ3000年前)の土器片で、弥生時代には遺跡がかなり広がっていることも確かめられています。古墳時代には、平野縁辺に全国有数の古墳も築かれており、実体がもう一つ明らかでないこれらの平野部の遺跡が、これから注目されます。

出雲のことなら 出雲市立出雲文化 伝承館

 出雲市浜町
＜指定＞県・考古資料
(上塩冶築山古墳出土品)
1990年に開館。豪農江角家住宅の母屋と長屋門を移築した出雲屋敷。出雲流の庭園、数寄屋造りの松籟亭、独楽庵など、当時の生活空間を復元している。隣りには、西出雲の歴史文化を紹介する展示室がある。大念寺古墳の石室の実物大模型をはじめ、市内の遺跡出土品、美術品などを展示。月曜・祝日の翌日休館。
＜交通＞一畑電鉄浜山公園北口駅から徒歩15分
＜連絡先＞0853-21-2460
＜いにしえ＞4巻P9

庶民的展示品 出雲民芸館

 出雲市知井宮町
1974年に開館。出雲の豪農・山本家の米蔵、木材蔵を改装・整備し、藍染、陶器、農具など、庶民の民芸品を展示している。月曜休館。
＜交通＞J R 西出雲駅から徒歩10分
＜連絡先＞0853-22-6397